

教育学部 教員養成課程

教育学部 学校教育コース（教育学専攻）

		到達目標	ディプロマポリシー			
			感じる力	考える力	コミュニケーション力	生きる力
教科教育科目				○	◎	○
総合科目・基礎科目						
教科専門科目	学校教育入門とセミナー	【教育学入門セミナー】自らの経験を省みつつ、多様な経験のありように触れ、学びと育ちに関わる実践と理論の蓄積をもふまえて、学校教育の課題に迫れるようになること。 【学校教育最先端セミナー】各分野における最新の研究情報に関する講義を聞き、学問のおもしろさに触れるとともに、積極的に質問・意見表明を行なうことによって、自ら学問研究の第一歩を経験すること。 【教育学セミナー】学びと育ちに関わる実践と理論の蓄積を検討し、学校教育の課題に迫りうる研究を構想できるようになること。	○	◎	◎	○
	学校教育実地研究	【学校教育実地研究Ⅱ】大学での学習と現場での実践を往還することにより知識と実践とを結びつける力を身につけること。	○	○	◎	◎

	教育学研究法	【教育実践研究法】①教育実践の特質を発見できること②質的研究の意義と方法を理解できること③教育実践の研究を具体的に構想し、取り組むことができるようになること 【文献講読法】現代の教育を相対化して考察する力を身につけること。 【コミュニケーション論】グループコミュニケーション力の獲得。そして、それを支援するスキルの獲得。	◎	◎	○	○
	教育学研究	研究を進め、研究の成果を記述できること。 自身の関心に基づいて発言・執筆する能力を身につけること。	○	◎	○	◎
	学びと教育の基礎	【教育の人間学】教育と人間の連関を自ら思考できるようになる。 【教育の哲学】教育という営みを自ら思考できるようになる。 【学級の子ども学】子どもにとっての学級の現実と可能性について、具体的な実践に即して理解できること。	◎	◎	○	○
	教育実践の創造と開発	【表現教育とコミュニケーション】教育実践を表現方法の教育としてとらえる観点からその意義と課題をとらえることができる。各教科、また道徳や総合的な学習における形式知による表現（言葉、絵等の媒体）、また身体知による表現の可能性と課題について様々な実践を取り上げながら分析・考察し、その到達点と課題を明らかにする。 【子どもの生活と教育】「語り」の成立条件と、「語り」から子どもに迫る方法を、具体的な実践に即して理解できること。	○	◎	◎	○

	教育学隣接領域	【学習心理学】学びの過程を心理学的に理解し、より良い学習指導や、自らの学びを改善するスキルを身につける。 【モチベーションサイエンス】人の動機づけ過程について理解し、関連要因を知ることにより、自己と他者の動機づけを調整する具体的な働きかけについて考えられること。 【認知発達心理学】認知的側面に関する生涯発達の全体像を把握すること。 【発達臨床】発達における課題を理解し、子どもの特性に応じて援助方針を考えることができる。 【社会心理学】社会心理学を体系的に理解し、人間の社会的行動についての説明を理解できること。				

教育学部ディプロマポリシー（DP）

三重大学教育学部は、学校現場における諸課題に対応できる実践的指導力を身につけた地域に貢献しうる教育人材を育成します。

教育学部は、次のような資質・能力を備えた人に対して、厳格な評価基準に基づいて学位を授与します。

・「感じる力」

教員に求められる使命や責任を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えることができる。

・「考える力」

教育に関する専門的な知識や技能に基づいて学級等を経営するとともに、授業等を計画・実践し、さらなる改善策を考え示すことができる。また、教育をめぐる諸課題を把握し、解決策を考え示すことができる。

・「コミュニケーション力」

子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。

・「生きる力」

社会人としての教養や公正な態度、柔軟な思考を身につけ、地域社会の動向を踏まえながら、責任ある行動をとることができる。また、自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を有している。